

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 総務-16 職員研修事務				タイムスコード及び個別事業名		
					507	運営事務	
主管課	職員課		関連課		508	研修旅費	
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	鎌倉市職員育成基本方針に基づく						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	6,006千円	6,928千円				
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	6,006千円	6,928千円				
	人員配置数	1.2人	1.1人				
	人件費	11,207千円	10,309千円				
	協働の パートナー						
指標と評価							
				指標	研修受講者数		
				評価			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							
					目標値	実績値	
事務事業 運営経費	総事業費	17,213千円	17,237千円	20年度	2300人	1689人	
	市民1人当 りの経費	97円	98円	21年度	2400人	1343人	
	対象者1人 当りの経費	12,295円	12,250円	22年度	2500人		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名					23年度	
						最終年度 (年度)	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)意識改革の推進 職員の意識改革のための取組方針に沿った意識改革推進のための研修の実施が課題であつた。 (2)職員育成基本方針の改訂					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 研修体系を見直し、コンプライアンス研修、意識改革集中研修を実施した。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 職員育成基本方針の改訂の着手					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 能力意欲評価の本格導入に伴い、育成方針の改訂に着手する。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	厳しい社会・経済情勢の中で、市民サービスを維持・向上するため、職員は一層資質を高めていく必要がある。			評価結果	改善の必要性	職員の大量退職に伴う知識・技術の継承や、基礎的な知識の向上に加え、政策形成能力の向上に努めていく必要がある。今後も引き続き、時代の要請に応えられる職員の育成を図っていきたい。
A	有				A	有	
課長名		松永 健一		部名・部長名		総務部・小村 亮一	